

12/3
(金)

川床小が景観学習 郷土の景観を学ぶ



講師の話熱心に聞く児童ら

12月3日、川床小学校(松永貢校長・112人)が町内各所を回る景観学習を行いました。

これは、県が行っている「かごしま景観学習」の一環で、郷土の素晴らしさを再確認するとともに、それを守るために働いている人への感謝の気持ちを育むことを目的としています。

当日はかごしま探検の会の東川隆太郎さんを招き、同小3・4年生の児童ら34人が町歴史民俗資料館や堂崎城、行人岳、南方神社を巡り、郷土の景観と歴史を学びました。

4年生の尾崎秀諭君は「今まで当たり前だと思っていたことが本当は違うということが知れてとても楽しかった」と充実した様子でした。

12/7
(火)

長島中で親子人権教室 自分も大切、あなたも大切

12月7日、長島中学校(石垣健二校長・86人)で親子人権教室がありました。

これは人権週間に合わせて行っているもので、県教育委員会人権同和教育課の職員が講話をしました。

教室では、インターネットにおける人権を中心に、対面でないやり取りは誤解が生じやすいため、直接自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを思いやることが大切だと説明がありました。

2年生の濱崎萌花さんは「インターネット上で使う言葉に気を付けて、お互いを認め合い人権を大切に

人権について学びを深める生徒ら



して生きていきたい」と述べました。

保護者には、子どもに正しい知識や情報を大人が伝え、子どもの気持ちを聞くことが大事との講師の話がありました。

12/10
(金)

年末年始の交通事故防止運動 安全運転でいってらっしゃい



餅を手渡し安全運転を呼び掛ける

12月10日、阿久根地区交通安全協会長島東支部(荒田哲雄支部長)が信号に見立てた三色餅で交通事故防止運動を行いました。

この取り組みは年末年始の交通事故防止運動の一環で、同会員のほか東町漁業協同組合や阿久根警察署の職員も参加。赤崎橋パーキングパークで約250袋の三色餅と啓発チラシを通行するドライバーに手渡し、安全運転を呼び掛けました。

荒田支部長は「一人ひとりに少しでも気を付けてもらうことが大事。そのために運動を続けていきたい」と話しました。